

# 真田幸村ゆかりの地自転車めぐりツアー記録写真





吉村家住宅

江戸時代初期の名家を代表する建物で、主屋、表門（奥屋門）、土蔵および土塙が国の重要文化財に指定されている。

吉村家は天正13年（1585）には島原の争乱として政所と呼ばれており、享保14年（1729）以後は近在10ヶ村の大庄屋をつとめている。

主屋はもとは入舟屋造の屋敷で、18世紀に大和棟に改修された家および本瓦葺。内部には広い土間と白牆からなる居間部、数寄屋風の書院造による書斎部が東西に並ぶ。

閑寂な中にも洗練された意匠がこらされ、格式ある茶室の生活がしのばれる。

Private Housing of the Yoshimuras  
Important Cultural Property

The housing of the Yoshimuras, dated to the first half of the 17th century, shows a representative style of the epoch. It consists of a main hall and a study.

2016/07/10 吉村家住宅



